

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)鶴ヶ島IIロジスティクスセンター	階数	地上4F
建設地	埼玉県入間郡毛呂山町大字川角字	構造	RC造
用途地域	無指定	平均居住人員	600人
地域区分	5地域	年間使用時間	4,380時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年2月 予定	評価の実施日	2021年10月7日
敷地面積	35,140 m ²	作成者	三木啓司
建築面積	18,965 m ²	確認日	2021年10月8日
延床面積	62,668 m ²	確認者	三木啓司



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア= 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.5

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス性能に配慮している ・敷地内外環境への配慮を行う ・資源マテリアルの確保に努めている 	その他 <ul style="list-style-type: none"> ・特に無し
Q1 室内環境	<ul style="list-style-type: none"> ・評価対象外 	Q2 サービス性能 <ul style="list-style-type: none"> ・空調換気設備に防振吊金物取付・給排水配管は上位3種がB以上、Eは不使用・階高3.90m以上・壁長さ比率0.1未満・倉庫積載荷重15000N/m²
LR1 エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・集中検針装置により、エネルギー消費に関する表示が可能 ・運用管理体制に加え、責任者指定の氏名及び、エネルギー使用料と目標値を設定している 	LR2 資源・マテリアル <ul style="list-style-type: none"> ・自動水栓に加え、節水型便器の採用・リサイクル材を活用・LGS下地、OAフロアの採用・有害物質を含まない防水工事のプライマー採用・ノンフロン断熱材を採用
		LR3 敷地外環境 <ul style="list-style-type: none"> ・LCCO₂排出率85%・ガス設備設置無し・チェックリストの過半を満たす、広告物照明無し

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)鶴ヶ島IIロジスティクスセンター新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										3.0
Q1 室内環境										
1 音環境										
1.1 室内騒音レベル										
1.2 遮音										
1 開口部遮音性能										
2 界壁遮音性能										
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)										
4 界床遮音性能(重量衝撃源)										
1.3 吸音										
2 温熱環境										
2.1 室温制御										
1 室温										
2 外皮性能										
3 ゾーン別制御性										
2.2 湿度制御										
2.3 空調方式										
3 光・視環境										
3.1 昼光利用										
1 昼光率										
2 方位別開口										
3 昼光利用設備										
3.2 グレア対策										
1 昼光制御										
3.3 照度										
3.4 照明制御										
4 空気質環境										
4.1 発生源対策										
1 化学汚染物質										
4.2 換気										
1 換気量										
2 自然換気性能										
3 取り入れ外気への配慮										
4.3 運用管理										
1 CO ₂ の監視										
2 喫煙の制御										
Q2 サービス性能							0.43			3.6
1 機能性										
1.1 機能性・使いやすさ										
1 広さ・収納性										
2 高度情報通信設備対応										
3 バリアフリー計画										
1.2 心理性・快適性										
1 広さ感・景観										
2 リフレッシュスペース										
3 内装計画										
1.3 維持管理										
1 維持管理に配慮した設計										
2 維持管理用機能の確保										
2 耐用性・信頼性						3.0	0.50			3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数						3.2	0.30			
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						2.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		上位3種がB以上、Eは不使用				5.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20			
2.4 信頼性						3.0	0.20			
1 空調・換気設備						3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備						3.0	0.20			
3 電気設備						3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20			
5 通信・情報設備						3.0	0.20			

3 対応性・更新性			4.2	0.50		-	-	4.2
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30		-	-	
1 階高のゆとり	階高3.90m以上		5.0	0.60		-	-	
2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.1未満		5.0	0.40		-	-	
3.2 荷重のゆとり	倉庫積載荷重15000N/m ²		5.0	0.30		-	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40		-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20		-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20		-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10		-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10		-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20		-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20		-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.57		-	-	2.5
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30		-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30		-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50		-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50		-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-		-	-	3.6
LR1 エネルギー			-	0.40		-	-	4.0
1 建物外皮の熱負荷抑制			-	-		-	-	-
2 自然エネルギー利用			-	-		-	-	-
3 設備システムの高効率化	[BEI][BEIm] = -		-	-		-	-	-
4 効率的運用			4.0	1.00		-	-	4.0
集合住宅以外の評価			4.0	1.00		-	-	
4.1 モニタリング			4.0	0.50		-	-	
4.2 運用管理体制			4.0	0.50		-	-	
集合住宅の評価			-	-		-	-	
4.1 モニタリング			-	-		-	-	
4.2 運用管理体制			-	-		-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30		-	-	3.5
1 水資源保護			3.4	0.20		-	-	3.4
1.1 節水	自動水栓に加え、節水型便器の採用		4.0	0.40		-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70		-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30		-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.5	0.60		-	-	3.5
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10		-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20		-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	高炉材(鋼材)		3.0	0.20		-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	押出法ポリスチレンフォーム(断熱材)、ビニル系床材(材)		4.0	0.20		-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10		-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	LGS下地、OAフロアの採用		5.0	0.20		-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.20		-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用	有害物質を含まない防水工事のプライマー採用		4.0	0.30		-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70		-	-	
1 消火剤			-	-		-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	ノンフロン断熱材を採用		4.0	0.50		-	-	
3 冷媒			3.0	0.50		-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30		-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮	LCCO2排出率85%		-	-		-	-	-
2 地域環境への配慮			3.5	0.50		-	-	3.5
2.1 大気汚染防止	ガス設備設置無し		5.0	0.25		-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25		-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25		-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25		-	-	
3 交通負荷抑制			3.0	0.25		-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25		-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.50		-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	-	
1 騒音			3.0	1.00		-	-	
2 振動			-	-		-	-	
3 悪臭			-	-		-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40		-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70		-	-	
2 砂塵の抑制			-	-		-	-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30		-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20		-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	チェックリストの過半を満たす、広告物照明無し		5.0	0.70		-	-	
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30		-	-	

CASBEE埼玉県 重点項目シート












■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	(仮称)鶴ヶ島Ⅱロジスティクスセンター	BEE	1.5	BEEランク	★★★★
------	---------------------	-----	-----	--------	------

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
0.0	+	2.6	=	2.6 
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上	
	 	  	   	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	0.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	0.0
・LCCO2排出率=85%			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.6
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	2.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
・緑地、中高木の設置			

 : 入力欄